

生物発光化学発光研究会第28回学術講演会プログラム

テーマ「生物発光化学発光研究の最前線」

開会挨拶：12:25～12:30

特別講演：12:30～14:00

特別 1 蛍烏賊と光る仲間たち (座長：中島憲一郎)
稲村 修 (魚津水族館)

特別 2 生物発光技術による細胞情報解析の新展開 (座長：近江谷克裕)
中島芳浩 (産業技術総合研究所・健康工学)

ポスターセッション (一般発表)：14:00～15:00

P01 生物発光を用いた分子プローブの開発と唾液中ストレスホルモン分析
○金誠培、鳥村政基(産総研環境管理)

P02 ゲンジボタル由来ルシフェラーゼ活性中心における酵素 - 基質間相互作用
○ 前中美華¹、加藤太一郎¹、丹羽一樹²、近江谷克裕²、武尾正弘¹、
根来誠司¹ (¹兵庫県立大学大学院工学研究科、²産業技術総合研究所)

P03 ゲンジボタル由来ルシフェラーゼ活性中心 Ser286 変異体の発光活性解析
○ 久保貴矢¹、加藤太一郎¹、前中美華¹、丹羽一樹²、近江谷克裕²、
武尾正弘¹、根来誠司¹ (¹兵庫県立大学大学院工学研究科、²産業技術総合研究所)

P04 近赤外化学発光における発光プローブの構造の最適化
○ 寺西克倫¹、久保田英博²、浅川 篤²、堀 隆司²
(¹三重大院生物資源、²アトー株式会社)

- P05 環状糖鎖シクロデキストリンによる近赤外化学発光強度の増強
○ 寺西克倫(三重大院生物資源)
- P06 レシオメトリック測定を可能にする新奇な化学発光ソルバトクロミック色素の創製
○山岸裕、孫尚鉉、青柳麻衣子、 山田幸司(北大院地球環境)
- P07 ヒドロキシルラジカル発光試薬の検討
○我妻慎一、関野宏(医療法人宏人会)
- P08 バクテリア発光振動原因物質の探究
○佐々木聰、木本創(東京工科大応用生物)
- P09 タンパク質マルチラベル化高分子の合成及び化学発光検出プローブとしての応用
○ 西村沙也加¹、 柴田孝之¹、Md. Golam Azam¹、 梶島力¹、 甲斐雅亮^{1,2}
(¹長崎大薬、²長崎大学グローバル COE プログラム)
- P10 生物発光法を用いた新規テロメラーゼ分析法の開発
○唐沢浩二、佐野佳弘、荒川秀俊(昭和大薬)
- P11 血中オキシトシン測定を目的とした生物発光酵素免疫測定法の確立
○ 佐野佳弘¹、太田汐美¹、荒川秀俊¹、大熊博²、柘植晴文²
(¹昭和大薬、²栄研化学(株))
- P12 ラット血漿・毛根・毛幹中のメタンフェタミンの HPLC-化学発光定量と毛髪移行性評価
○野上久美、池田理恵、和田光弘、黒田直敬、中島憲一郎(長崎大院医歯薬)
- P13 ルミノール化学発光による簡便・迅速なブルーベリーの抗酸化活性評価
○小林ちひろ¹、池田理恵¹、和田光弘¹、天島道夫²、黒田直敬¹、中島憲一郎¹
(¹長崎大院医歯薬、²株式会社堀内組グループ経営統括事業本部)

P14 Microplate analytical method for quinones by pulse photo-irradiation and chemiluminescence detection

○Mohamed Saleh Elgawish, Chikako Shimomai, Naoya Kishikawa, Kaname Ohyama, Kenichiro Nakashima, Naotaka Kuroda (Graduate School of Biomedical Sciences, Course of Pharmaceutical Sciences, Nagasaki University)

P15 パーキンソン病誘発物質 MPP⁺のシーケンシャルインジェクション化学発光分析法の開発

○樋口 翔、岸川直哉、大山 要、中島憲一郎、黒田直敬(長崎大院医歯薬)

依頼講演：15:00～17:20

依頼 1 磁気ビーズを担体とする化学発光フローイムノアッセイ法 (座長：黒田直敬)
今任稔彦 (九大工院)

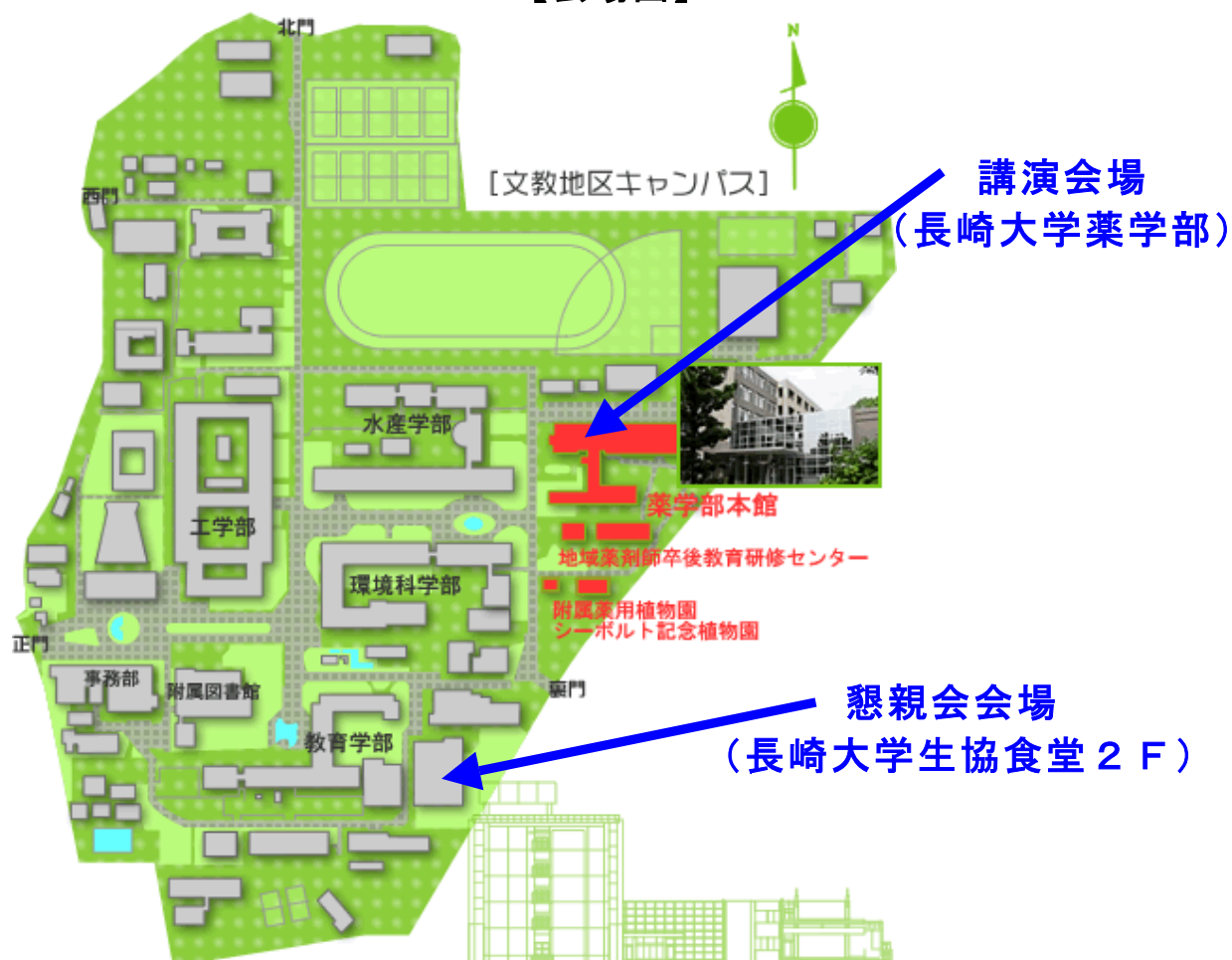
依頼 2 近赤外化学発光とその利用 (座長：岸川直哉)
寺西克倫 (三重大生物資源学研究科)

依頼 3 ホタル生物発光系をモデルとした人工発光系の創製 (座長：佐野佳弘)
牧 昌次郎 (電気通信大学 先進理工)

依頼 4 新たな特性を有する化学発光化合物の開発 (座長：和田光弘)
中園 学 (九大院薬)

懇親会：17:30～19:30 長崎大学生協食堂 2 階

【会場図】



【場内図】

薬学部本館平面図 (2F)

